



GILEAD

はじめに・目次

治療方法・作用

治療スケジュール

注意事項

副作用

U=U達成をめざしましょう

# シュンレンカによる 治療を受けられる方へ

監修

独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター  
エイズ総合診療部長

横幕 能行 先生

## はじめに

この冊子は、シュンレンカによる治療を受けられる方のために作成されたものです。

シュンレンカの特徴や治療方法、服用や皮下注射を忘れたときの対処方法、副作用、治療時の注意事項などが記載されていますので、治療を始める前にお読みください。

ヒト免疫不全ウイルス(HIV)感染症の治療薬は目覚ましく進歩し、近年ではほとんどの患者さんがHIVのウイルス量を持続的に抑制できるようになりました。

しかし、抗HIV薬の使用を続けているうちに効果が低下して、HIVのウイルス量が増えてしまう患者さんもみられます。

抗HIV薬の効果が低下してしまう大きな理由の1つは、抗HIV薬の使用を続けているうちにHIVが変異し、治療に使用している抗HIV薬が効きにくくなったり効かなくなってしまうこと(耐性)が起こるからです。

シュンレンカは、これまでに使用していた抗HIV薬に耐性となったHIVに対してもこれまでの薬とは異なる作用により効果を示す新しい作用の治療薬です。

シュンレンカを治療に用いる場合には、必ず他の抗HIV薬を併用しなければいけません。錠剤と皮下注射剤があり、治療スケジュールも、従来の抗HIV薬とは大きく異なります。シュンレンカによる治療を行うにあたっては、状況にあわせた医学的な判断が必要となるため、主治医や看護師、薬剤師の説明をよく聞き、指示にしたがってください。

シュンレンカの服用や皮下注射についてわからないことがあれば、必ず主治医や看護師、薬剤師の説明をよく聞いて理解し、指示を守ってください。

# シュンレンカによる治療を受けられる方へ

## 目次

---

1. **はじめに**
3. **シュンレンカはどんな薬？**
5. **シュンレンカの治療方法について(導入療法)**
6. **シュンレンカの治療方法について(維持療法)**
7. **シュンレンカは必ず他の抗HIV薬との併用が必要です**
7. **シュンレンカの治療スケジュールを守りましょう**
9. **他の病気の治療薬を服用している方へ**
10. **シュンレンカの治療を受けるときの注意点**
11. **シュンレンカの副作用**
12. **U=U達成をめざしましょう**
13. **シュンレンカのまとめ**
13. **HIV感染症の情報入手先**
14. **シュンレンカの治療スケジュールを記録しましょう**

# シュンレンカはどんな薬？

シュンレンカは、これまで使用されてきた抗HIV薬に耐性となったHIVの増殖も抑制します。

シュンレンカは、これまで使用されてきた抗HIV薬が耐性になってしまったHIVに対しても効果を示します。そのため、副作用等から治療がうまくいかず、これまで使用してきた抗HIV薬が効きにくくなったり効かなくなってしまった患者さんが治療の対象となります。

シュンレンカによる治療は、他の抗HIV薬を併用しながら、錠剤で導入療法開始後、長期作用型の皮下注射剤で維持療法を継続します。

● シュンレンカ錠を服用するのは導入療法のみで、その後は長期作用型のシュンレンカ皮下注を6カ月に1回、腹部の2カ所にそれぞれ1本ずつ投与することで治療を継続します。なお、皮下注射は患者さん自身やご家族などがご自宅などで行うのではなく、医療機関で医師または看護師が行います。

→p.5,6「シュンレンカの治療方法について」

● シュンレンカを治療に用いる場合、シュンレンカのみではなく必ず他の抗HIV薬を併用します。

→p.7「シュンレンカは必ず他の抗HIV薬との併用が必要です」

## シュンレンカ錠とシュンレンカ皮下注

シュンレンカ錠は導入療法で服用し、シュンレンカ皮下注は継続して使用します。

### 【シュンレンカ錠】

シュンレンカ錠は、右のような淡褐色の錠剤です(実物大)。

服用方法が記載された1枚のPTPシートとして処方されます。

- PTPシートから取り出して、服用してください。
- 子どもの手の届かないところに保管してください。
- PTPシートのまま保管してください。

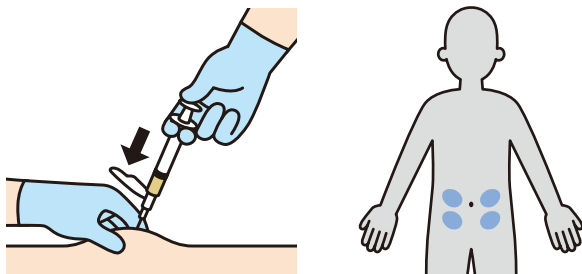


## 【シュレンカ皮下注】

注射器を用いて下図のように皮下注射します。

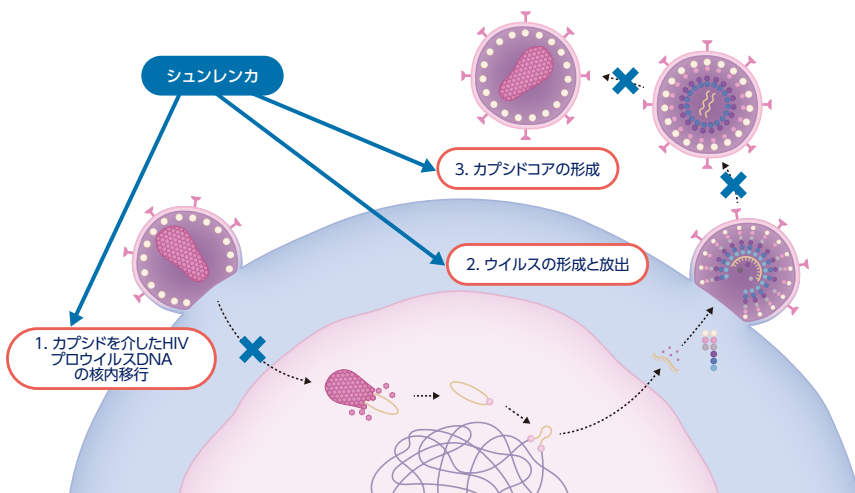
- 皮下注射は、医療機関で医師または看護師が行います。
- 腹部の2カ所にそれぞれ1本ずつ投与します。

● =注射部位の選択肢  
(臍から5cm以上離す)



## シュレンカは、他の抗HIV薬とは異なる作用により効果を示します。

HIVの内部には、カプシドと呼ばれる円錐状の構造体が存在します。カプシドはHIVの増殖に必須の働きを持っていますが、シュレンカはこのカプシドの働きを複数の箇所でも阻害することで、HIVの増殖を抑制します。このようなシュレンカの作用は、他の抗HIV薬とは異なる新しい作用です。



# シュンレンカの 治療方法について(導入療法)

## 【導入療法】

治療は、シュンレンカ錠の服用で開始し、シュンレンカ皮下注で続きます。治療開始1日目と2日目には、シュンレンカ錠をそれぞれ1回2錠ずつ服用し、8日目には、1回1錠を服用します。15日目にはシュンレンカ皮下注を2カ所にそれぞれ1本ずつ投与します。その後は、6ヵ月後の維持療法までシュンレンカの投与はありませんが、他の抗HIV薬の服用は必ず継続しなければいけません。

 シュンレンカ錠 1回2錠  シュンレンカ錠 1回1錠  シュンレンカ皮下注 2カ所にそれぞれ1本ずつ

※シュンレンカ錠は食事の有無にかかわらず服用することができます。

## 【導入療法のスケジュール】

▼日付を書き込みましょう。



→p.7,8「シュンレンカの治療スケジュールを守りましょう」



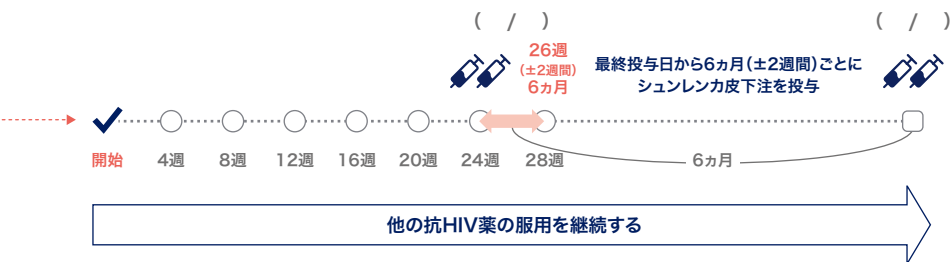
# シュレンカの 治療方法について(維持療法)

## 【維持療法】

シュレンカ皮下注の初回投与から6か月ごとに2カ所にそれぞれ1本ずつ投与し、その間も他の抗HIV薬の服用は継続して行います。

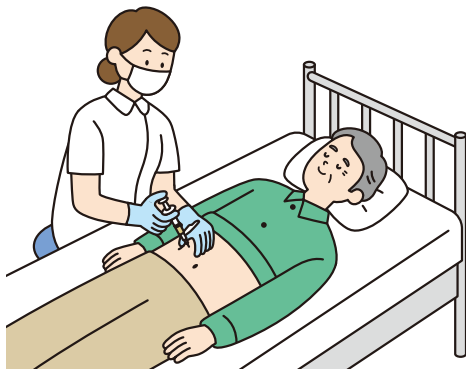
 シュレンカ皮下注 2カ所にそれぞれ1本ずつ

## 【維持療法のスケジュール】



注1) 予約を変更する必要がある場合や、予約時間を過ぎてしまった場合は、速やかにかかりつけの医療機関に連絡してください。

→p.7,8「シュレンカの治療スケジュールを守りましょう」



# シュンレンカは必ず 他の抗HIV薬との併用が必要です

シュンレンカによるHIV感染症の治療は、シュンレンカのみではなく、他の抗HIV薬を併用して行います。併用する他の抗HIV薬は、主治医によって患者さんごとに最も効果が期待できるように選択されます。シュンレンカだけでなく、他の抗HIV薬の服用もスケジュール通りに行うことが、HIVの増殖の抑制を維持し、シュンレンカを含む使用している抗HIV薬の耐性を減らすために重要です。

他の抗HIV薬を  
スケジュール通りに服用



シュンレンカを  
スケジュール通りに服用・皮下注射



+

シュンレンカおよび他の抗HIV薬をそれぞれスケジュール通りに治療を行うことは、HIVの増殖の抑制を維持し、シュンレンカを含む使用している抗HIV薬の耐性を減らすために重要です。

## シュンレンカの治療スケジュール を守りましょう

シュンレンカの効果を維持するには、スケジュール通りに治療を行うことが大切です。

シュンレンカは、他の抗HIV薬に対して耐性化したHIVに対しても効果を示しますが、効果を維持するためには、シュンレンカによる治療をスケジュール通り行うことがとても大切です。

シュンレンカの服用や皮下注射のための受診ができず、スケジュール通りの治療を行わなかった場合には、HIVは、他の抗HIV薬のみならず、シュンレンカに対しても耐性化する可能性があります。



## 万一、シュレンカの服用や皮下注射のための受診ができなかったら・・・

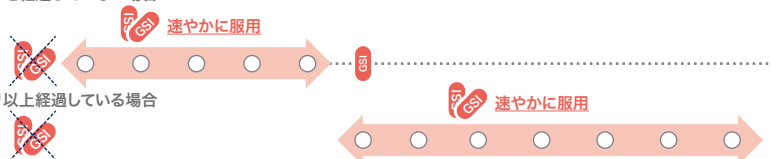
飲み忘れに気づいたときや皮下注射のための受診ができなかったときには、速やかにかかりつけの医療機関に相談をしましょう。シュレンカによる治療を継続または再開する必要があると主治医が判断した場合は、以下の対応を行ってください。



### ●服用を忘れた場合の対応

【2日目の服用を忘れた場合】

- 6日<sup>\*1</sup>を経過していない場合



- 6日<sup>\*1</sup>以上経過している場合

【8日目の服用を忘れた場合】

- 6日<sup>\*2</sup>を経過していない場合

速やかに服用

- 6日<sup>\*2</sup>以上経過している場合

※1 導入療法の開始から8日目

※2 導入療法の開始から14日目

服用を忘れた場合の対応を行った後の皮下注射の投与日については、主治医に確認してください。

### ●皮下注射の最終投与日から28週間を経過した場合の対応



シュレンカによる治療を再開することが適切であると主治医が判断した場合は、シュレンカの導入療法のスケジュールに戻り、シュレンカ錠の1日目の服用から再開します。

## 服用や皮下注射のための受診を忘れない工夫

- スマートフォンのアプリなどを活用し、アラーム機能を利用する
- スマートフォンや手帳に服用日と皮下注射の予約日を記録する  
→p.14「シュレンカの治療スケジュールを記録しましょう」



アラームの利用



手帳の利用



ギリアド・サイエンシズ社作成の「患者向けLINE公式アカウント」でリマインド機能をご活用いただけます。

# 他の病気の治療薬を服用している方へ

シュンレンカと一緒に服用すると、副作用が出たり、十分な効果が得られなかったりする場合があります。現在、服用している薬や使っているサプリメント、健康食品などがある方、新しい薬やサプリメント、健康食品を使う予定がある方は主治医や薬剤師などに伝えて、相談したうえで必要な対応をとるようにしてください。

## 一緒に服用または使用してはいけない薬・健康食品

Ⓞ 以下の薬や健康食品を服用または使用している方は、シュンレンカによる治療を受けられません。

抗酸菌症治療薬	リファンピシン(リファジン <sup>®</sup> 、他)
抗けいれん薬	フェニトイン(アレピアチン <sup>®</sup> 、他)、フェニトイン・フェノバルビタール(ヒダントール D/E/F <sup>®</sup> 、他)、ホスフェニトインナトリウム水和物(ホストイン <sup>®</sup> )、カルバマゼピン(テグレートール <sup>®</sup> 、他)
前立腺癌治療薬	アパルタミド(アーリーダ <sup>®</sup> )、エンザルタミド(イクスタンジ <sup>®</sup> )
副腎皮質癌治療薬	ミトタン(オペプリム <sup>®</sup> )
高脂血症治療薬	ロミタピドメシル酸塩(ジャクスタピッド <sup>®</sup> )
子宮収縮止血薬	メチルエルゴメトリンマレイン酸塩(パルタン <sup>®</sup> 、他)
頭痛治療薬	エルゴタミン酒石酸塩・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリン(クリアミン <sup>®</sup> )
ハーブ製剤	セイヨウオトギリソウ(セント・ジョーンズ・ワート)含有食品

## 一緒に服用または使用する場合、主治医または薬剤師に相談する必要がある薬

⚠ 以下の薬を服用または使用している方は、主治医または薬剤師にご相談ください。

抗不整脈薬	ジゴキシン(ジゴシン <sup>®</sup> 、他)、キニジン(キニジン <sup>®</sup> )
抗凝固薬	リバーロキサパン(イグザレルト <sup>®</sup> )、ダビガトラン(ブラザキサ <sup>®</sup> )、エドキサパン(リクシアナ <sup>®</sup> )
高脂血症治療薬	シンバスタチン(リポバス <sup>®</sup> 、他)
副腎皮質ステロイド(全身性)	デキサメタゾン(オルガドロン <sup>®</sup> 、他)、ヒドロコルチゾン(コートリル <sup>®</sup> 、他)、コルチゾン(コートン <sup>®</sup> )
鎮静薬/催眠薬	トリアゾラム(ハルシオン <sup>®</sup> 、他)
肺動脈性肺高血圧症治療薬/勃起障害治療薬	シルデナフィル(バイアグラ <sup>®</sup> 、他)、タダラフィル(シアリス <sup>®</sup> 、他)、バルデナフィル(バルデナフィル <sup>®</sup> )
抗HIV薬	アタザナビル/リトナビル(レイアタッツ <sup>®</sup> /ノービア <sup>®</sup> 、他)、エファビレンツ(ストックリン <sup>®</sup> )、ネビラピン(ピラミューン <sup>®</sup> )
抗酸菌症治療薬	リファブチン(ミコブティン <sup>®</sup> )
抗けいれん薬	ミダゾラム(経口)(プロラム <sup>®</sup> )、フェノバルビタール(フェノバル <sup>®</sup> 、他)

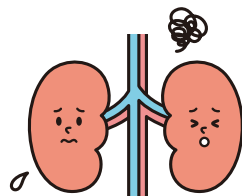
# シュンレンカの 治療を受けるときの注意点

次のような方はシュンレンカによる治療を受けられません。

- シュンレンカの成分に対し過敏症の既往歴のある方
- リファンピシン、フェニトイン、フェニトイン・フェノバルビタール、ホスフェニトインナトリウム水和物、カルバマゼピン、アパルタミド、エンザルタミド、ミトタン、セイヨウオトギリソウ(セント・ジョーンズ・ワート)含有食品、ロミタビドメシル酸塩、メチルエルゴメトリンマレイン酸塩およびエルゴタミン酒石酸塩・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリンを服用または使用している方  
→p.9「他の病気の治療薬を服用している方へ」

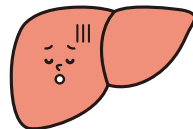
腎機能が著しく低下している方は注意が必要です。

- 末期腎不全(クレアチンクリアランス15mL/min未満)の方は主治医にご相談ください。



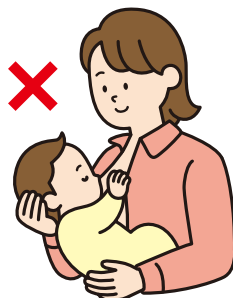
肝機能が著しく低下している方は注意が必要です。

- 重度の肝機能障害(Child-Pugh分類C)の方は主治医にご相談ください。



妊娠を希望する方は主治医に相談してください。

- 妊娠中の投与におけるシュンレンカの妊婦や胎児に対する影響は明らかになっていません。妊娠を希望する場合は主治医と相談してください。
- シュンレンカによる治療中は授乳しないようにしてください。



# シュンレンカの副作用

シュンレンカによる治療中に、下記を含む体の異常を感じた場合は、すぐに医師に相談するようにしてください。

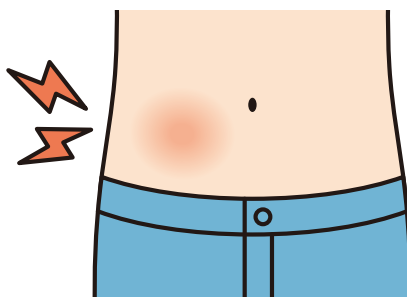
## 主な副作用

主な副作用として、以下のような副作用があらわれることがあります。

### 注射部位反応

皮下注射の後、注射した部位に以下のような反応が出ることを注射部位反応といいます。

- 腫脹 しゅちやう …… 腫れる
- 疼痛 とうつう …… 痛くなる
- 結節 けっせつ …… しこりができる
- 紅斑 こうはん …… 赤く盛り上がる
- 硬結 こうけつ …… 硬くなる
- そう痒感 そうかん …… かゆくなる
- 漏出 ろうしゅつ …… 薬液が漏れる
- 不快感 ふかいかん …… 気持ち悪く感じる
- 腫瘤 しゅりゅう …… こぶができる
- 血腫 けっしゅ …… 血の固まりができる
- 浮腫 ふしゅ …… むくむ
- 潰瘍 かいよう …… 深くえぐれた傷ができる



### 悪心(気持ち悪くて吐きそうな感じ)

悪心は、シュンレンカの服用および皮下注射のそれぞれであらわれることがあります。



# U=U達成をめざしましょう

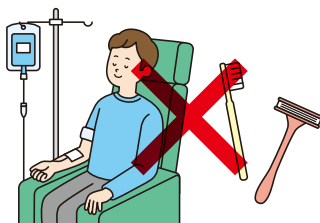
U=Uという考え方があります。  
治療を継続し、U=U達成をめざしましょう。

- U=Uとは、治療によって血液中のウイルス量を検出限界値未満 (Undetectable) に継続的に抑えていれば、性行為をしても感染しない (Untransmittable) 状態をいいます<sup>1-4</sup>。
- U=Uを達成するには、服用や皮下注射のための受診を忘れず、適切に治療を続けていくことが重要です。
- 服用や皮下注射のための受診を忘れない工夫をしましょう。  
→p.8「服用や皮下注射のための受診を忘れない工夫」

ただし、服薬アドヒアランスが低下している期間や、治療を中断している期間には性行為によって感染する可能性があります。また、血中ウイルス量を検出限界値未満に抑え続けていても、他の性感染症の感染は防ぐことはできないため、以下のような場面では注意してください。

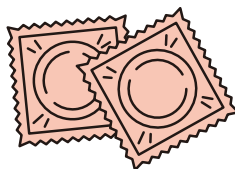
## 相手の人への影響

- 献血はしてはいけません。
- 妊娠や出産に関することは医師に相談しましょう。
- 体液が相手の粘膜や傷口に触れないよう、歯ブラシやかみそりの共有を避け、正しくコンドームを使用してセックスをしましょう。



## あなた自身への影響

- 相手からB型肝炎やクラミジア、淋菌、梅毒などの性感染症をうつされた場合、からだの免疫システムに異常が起こったり、病気が進行する可能性があります。そのため、正しくコンドームを使用してセックスをしましょう。



1: Rodger AJ, et al.: JAMA 2016; 316(2): 171.  
2: Rodger AJ, et al.: Lancet 2019; 393(10189): 2428.  
3: Bavinton BR, et al.: Lancet HIV 2018; 5(8): e438.  
4: 抗HIV治療ガイドライン 2023年3月.

# シュンレンカのまとめ



シュンレンカは、他の抗HIV薬とは異なる新しい作用により、HIVの増殖を抑制します。



シュンレンカは、錠剤で治療を開始し、その後は6ヵ月ごとの皮下注射剤で治療を継続します。



シュンレンカは、他の抗HIV薬と併用し、それぞれの治療スケジュールを守る事が大切です。

この冊子では、シュンレンカによる治療について紹介しましたが、少しでも気になる点がありましたら、主治医や看護師、薬剤師に相談してください。

## HIV感染症の情報入手先

HIV感染症に関する情報は、以下のホームページで入手することができます。

- 国立研究開発法人 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

<http://www.acc.go.jp/>

- 独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター

HIV/AIDS先端医療開発センター

<https://osaka.hosp.go.jp/department/khac/>

- エイズ予防情報ネット

<https://api-net.jfap.or.jp/>

- ギリアド・サイエンシズ「ギリアド・サイエンシズの抗HIV薬で治療を受けられる患者さんへ」

<https://www.hiv-pt-portal.jp>



# シュレンカの治療スケジュールを記録しましょう

シュレンカによる治療をスケジュール通りに行うことができるよう、治療を始める前にあなたの治療スケジュールを以下に記録しておきましょう。



**1日目:**シュレンカ錠を1回2錠服用します。

日付: 年 月 日



**2日目:**シュレンカ錠を1回2錠服用します。

日付: 年 月 日



**8日目:**シュレンカ錠を1回1錠服用します。

日付: 年 月 日

## 15日目:



医療機関を受診し、シュレンカ皮下注を2ヵ所にそれぞれ1本ずつ投与します。

日付: 年 月 日

## シュレンカ皮下注の初回投与から6ヵ月後:



医療機関を受診し、シュレンカ皮下注を2ヵ所にそれぞれ1本ずつ投与します。

日付: 年 月 日

## シュレンカ皮下注の2回目の投与から6ヵ月後:



医療機関を受診し、シュレンカ皮下注を2ヵ所にそれぞれ1本ずつ投与します。

日付: 年 月 日

あなたは主治医と相談した結果、以下の抗HIV薬を併用することになりました。

抗HIV薬: \_\_\_\_\_

服用方法: \_\_\_\_\_

## 6ヵ月ごとに、皮下注射の予約を入れましょう。

治療開始15日目にシュレンカ皮下注の初回投与を行った後は、6ヵ月ごとに皮下注射の投与を続けます。前回の予約からちょうど6ヵ月後に次回の予約を入れることができない場合には、6ヵ月後の前後2週間以内に予約を入れましょう。



『シュンレンカによる治療を受けられる方へ』は、  
スマートフォンやタブレット端末でもご覧いただけます。



問い合わせ先

病医院・薬局名

**ギリアド・サイエンシズ株式会社**

〒100-6616 東京都千代田区丸の内1-9-2 グラントウキョウサウスタワー

<https://www.gilead.co.jp/>